

## 第3回 意見交換会 要旨

開催日時	11月 6日(火) 19時00～ 21時00		
市町村名	穂高町	グループ名	2
メンバー	( :司会、 :記録者)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「高規格道路の意見交換会」として、意見とは何の意味をなしているのか、県の方から説明して欲しい。</li> <li>・産業の発展の為に</li> <li>・環境アセスメントの資料を県に作っていただきたい。 私達住民の力では調査が出来ないので</li> <li>・大北地方の方は、産業、観光の発展の為に必要だと考えている。</li> <li>・本日の資料は、今までの調査をまとめたもので、これだけここまで決まってきた事実があり、「白紙」という事があるのだろうか？</li> <li>・行政のやり方に問題があるという話になると、論点が違ってしまう。</li> <li>・意見を求められているのだから、それは「進めること」が前提の話ではないのか。 意見として聞いてもらえるのだから、大切に捉えて、行政の「案」に対しての具体的な「案」を提出しなければもったいないのではないのでしょうか。</li> <li>・行政を説得するという考え方に至らないと、言ってみてもただ「反対」で終わってしまうのではないか。</li> <li>・道路は絶対必要だと思う。それは、農業の発展に流通ルートがある事が欠かせない。</li> <li>・今、道路を作った時に、いかに環境に負荷を与えないで造るか、というのが大切な時代に入ったのではないか。</li> <li>・では、A案に賛成の方はいませんか？ いません(誰も挙手しません)</li> <li>・反対のほうが多いがC案なら賛成という方もいる。</li> <li>・今、県の資料によるとA, B, Cのルート案が出され、A案(山麓ルート)に対して総合評価でがされているけれども、これだけ事業が進む中で、このA案が本当にいいかどうかというと「環境」に対するデメリットを考えれば、平地(高瀬川左岸)ルートC案が最も有効な案ではないでしょうか。関東と北陸を結ぶのであれば豊科ICから北へつなぐのが最短であるはずである。</li> <li>・道路特定財源のお金はどうなっているのでしょうか。 今は調査区間として上がってきている時期なので、この機会にC案で進めていただきたいと県に申し上げたい。</li> <li>・C案に調査区間を変えてもらいたいという意見を出してみても、C案がいいという意見が多ければ、変えてもらう事は可能だと思う。だったら、このグループの意見として、いくつか要望を出してみてもどうか。</li> <li>・今、A, B, C案に対しての比較検討の表(資料の中)には、環境に対する項目が取られていないので、その項目を追加した場合、本当にA案が最善なのか。ぜひ、環境に対するメリット・デメリットを県で調査していただきたい。</li> <li>・意見交換としては梓川や小谷村の方と話をしたかった。これから12月に全体的な意見交換会があるので、広い視点で意見を交換したいですね。</li> <li>・今後、意見の聞き方にもっと広域的な意見集約のやり方の工夫をしてもらいたいですね。</li> </ul>			

### 第3回 意見交換会 要旨

開催日時	11月 6日(火) 19時00 ~ 21時00		
市町村名	穂高町	グループ名	2
メンバー	( :司会、 :記録者)		

資料説明(県より)

用地買収費  
 除雪費 管理費 } 資料参照

国道の格下げは…… 1格、2格落ちが通常

通行量の根拠は、・・・H10.7 建設省資料をもとに算出

意見交換会 11月末をメドに「提言」 報告会 広報などで広める予定  
「概略ルート」

: 意見交換会とルート案の関係について

県: 要望があったので情報公開した。・・・ A ルート

: Aルートについての意見を出して欲しい

税金の使い方に対する意見は世の中の仕組みをわかっていない意見

: 道路特定財源であることは知っている。

県の税金の使い方にも影響する。

: 教育や福祉にまわることは無い。 屁理屈である

: 国も県も限られた予算の中でやりくりしている。

: 産業がどのように発展するのか、という立場で道路を考える。

: 賛成・反対それぞれの考え方を聞きたいので、決めつけた司会をして欲しくない。

: 間違った意見を述べて欲しくない。

: 討議の柱を設定して欲しい。

: テーマのポイントは?

: 必要か、必要でないか。

自然破壊という観点では反対の理由にならない。

: 自然が反対の理由にならないと決めつけることはおかしい。

: 出席している人はそれなりの資料と意見を持っているはず。

: 分からないから参加している。

建設を進める立場での資料しか提供されていない。

:

: 0からの討論ではない。

県: 調-法的拘束力は無い。

県は進める立場で今まで来たがここで立ち止まって皆さんの意見を聞く、ということ。

: 10年前から進めてきたが、無関心であった。

### 第3回 意見交換会 要旨

開催日時	11月 6日(火) 19時00 ~ 21時00		
市町村名	穂高町	グループ名	2
メンバー	( :司会、 :記録者)		

- : 今までのやり方に問題はあった。  
最近になって問題がクローズアップしてきた。  
自然保護の立場で反対することに司会者がおかしいということがおかしい。
- : 反対ならば反対の根拠をはっきりさせるべき。
- : この問題が今の日本の問題である。
- :
- : 反対ならば議員に言ったらいい。
- : 同盟会の要望が必ずしも住民の住民の願いではなかった。
- : P I手法
- : 司会者は参加者の意見を出すようにして欲しい。  
( 進行に対する意見、要望、不満  
爆発 )
- : 道路と産業  
道路ができて、農業が発展している ( 輸送面 )  
道路整備が遅れて産業が発展できなかった京都府  
海産物が入ってきやすい  
自然破壊をどれだけ防げるかが課題
- : 北陸方面への輸送
- : 中央道は九州、中国のトラックが多い現状
- : ルートAの賛成者いますか。
- : 今その議題が必要かどうか。
- : 農業の未来について、道路建設後はどうなるか。  
オリンピック道路が出来てから、商業がさびれた感がある。
- : 町長 - 農業を助ける ( 農地を売る )
- : 資料 Aルート 森林破壊  
県がここまで進めてきているのだとしたら、具体的に提案するのもしいいのでは
- : 白馬村は既存道路のほうが利用が高い。( 出口入口の問題 )  
波田と小谷の整理をしたあとでよい。
- : 不景気だから道路が必要。
- : がまんが必要が無いという意見は捉えどころがない。
- : 反対者ばかりが多く参加しているが、賛成の意見も聞きたい。  
頭から決めつけないでもらいたい。

### 第3回 意見交換会 要旨

開催日時	11月 6日(火) 19時00 ~ 21時00		
市町村名	穂高町	グループ名	2
メンバー	勝見、吉田、橋住 ( :司会、 :記録者)		

出席者 12名

: 道路特定財源 県350億

ここでやめたら、県の枠の中だけで考えられるのか。維持費用も含めて。

県: 県内の道路予算へまわることになる。維持費用も含めて。

: A, B, Cルートは今のところ考えられない。

松本市内の道路整備をしてほしい。

: 私はC案。今を逃すと難しくなる。

: 私もC案賛成。

: 調査区間だからOKということか。

勝: 調査区間をCに変更。

県 C案賛成者が多ければ変更可能という返事。

: 凍結よりも前向きに検討しなくても良い。いくつかあるうちの意見ならばC案賛成。

勝: 道路がないという意見に明確な根拠はない。

立: 税金、環境、という意見も大事にしてほしい。配慮も。

: 検討比較資料に、**環境**の項目も入れて欲しい。

: デメリット項目。

第2グループの意見集約をしてよろしいか。

: 他地区の人の意見も聞きたい。

: 道路建設そのものに反対

C案賛成



おおよそ2つの意見

: 人数を記録して欲しい。

: どういう報告会になるのか。

県: 各グループ発表。行政はまとめない。

: 人数は必要ない。こういう意見があったという報告ではない。

HPに載っているのか。

県: 現在載っている。(ソフトよる)

: 第2グループの会は今回で終わりとする。